



心を汲める人に

校長 松久保 鉄也

藤井颯太棋士がすごい。圧巻の強さ。ある棋士は「相手の指し手だけでなく、心を読む術に長けている」と語っていた。心を読むと似た言葉に心を汲むがある。どのような違いがあるのか調べた。

読む「相手が何を考えているか、言葉や表情、しぐさから考えること」

汲む「相手が望むことを理解し、できる限り助けや支えを提供したり共感したりすること」

この解釈を見ると、読むは客観的で汲むは共感的だと感じる。そして、自分自身できる限り、周りの人の心を汲み取りたいと思う。加えて、児童にもそうあって欲しいと願う。

そのために先月は「心がぼかぼか」運動を実施した結果、ぼかぼかの木に**優しさの実**がたわわに実った。この実が、この季節だけでなく寒い冬も続き、心に暖かな灯火を灯す燃料になることを期待する。更に、家庭でも子供が家族の心を汲み取った出来事をとらえ、その気遣いを大いに称賛してもらいたい。この成果が、楽しみである。



11月のいじめアンケート

11月は4件でした。今回の事案だけでなくこれまでの事案についても担任・全教員で指導・見守りを続けます。

5年：宿泊学習

11/29(水)・30(木)に宿泊学習が行われました。宿泊学習は、日常生活から離れ、仲間と一緒に過ごす活動を通して、協力したり、自然の大切さを感じたりすることが目的です。



当日、子供たちに「友達のよさを見つけ、言葉で伝えよう」と話しました。退所式でたずねると、多くの子供たちが、がんばりやよさを見つけたそうです。今後は、友達のよさを声に出し、伝えてほしいです。その他学んだことを、これからの生活に生かしてほしいと思います。

人権の花運動 終わりの式

12/7(木)に人権の花運動終わりの式がありました。各学年代表児童が活動の感想を発表し、人権擁護協議会から感謝状の授与がありました。今年の夏は大輪のヒマワリが咲き誇り、地域の方々にも喜んでいただきました。子供たちがヒマワリのようにすてきな笑顔で学校生活を過ごせるよう、職員一同見守っていきます。



1月行事予定

- 9日(火) 始業式, 12:15下校
- 13日(土) 土曜授業：学校開放日
家庭教育学級
- 23日(火) スクールカウンセラー来校
- 31日(水) 新1年生入学説明会

校区の方々に支えられた教育活動

○ 児童の走りを引き出す先導

12月6日(水)に行われた校内持久走大会に、ペースメーカーとして内翔平さん(湯田原在住:県下周駅伝川薩チーム走者)と上大迫みなみさん(櫃ヶ迫在住:地区対抗女子駅伝川薩チーム走者)が来て下さいました。先頭で走る児童や持久走が苦手な児童に、パワーを与えていただきました。



○ 安全な持久走大会への協力

持久走大会を実施するに当たり、湯田原ニュータウンにお住まいの皆様や通行車両の方々には、2回の試走と本番の計3回、ご協力いただきました。ありがとうございました。

○ 鶴田和紙紙漉き体験

今年も、鶴田の大先輩である野元政志さんの仕事場に6年生がお邪魔して、卒業証書となる紙漉き体験を行いました。紙漉きは県内では、2カ所でしか行われていません。何と貴重な、何と贅沢な活動。卒業証書を手にする日が待ち遠しいです。



○ お話しコンサート

校区在住の小原夫妻にお越し頂き、流水小学校から続くお話しコンサートが開催されました。おしゃべりを交えながらのピアノ演奏・朗読に、あっという間に引き込まれていました。読書の楽しさを改めて感じる事ができた時間となりました。

キャッチフレーズ 大募集

来年度のCS鶴田小キャッチフレーズを募集中です。文でも言葉だけでもOK。募集は右のQRコードからできます。メ切は12月22日(金)です。たくさんの応募をお待ちしております。



1月のCSの日学校開放

鶴田小CSの日学校開放。12月は約20人の来校者数でした。次回は1月13日9:45から。様々な授業や発表会を行いますので、是非、児童の様子を参観しに御来校ください。

